

今年度の核不拡散に関する国際フォーラム会議の開催について

(素案)

平成 22 年 7 月 22 日
日本原子力研究開発機構

日本原子力研究開発機構では、NPT の 3 本柱である原子力平和利用、核不拡散、核軍縮を包括的に取上げ、核不拡散との両立を果たしながら原子力の平和利用の継続的発展を実現するためには、課題は何か、今何をすべきかを考え、そして議論する国際フォーラム会議を、その時々に対応しいテーマの下、毎年、国際問題研究所、東京大学 G-COE 他との共催により開催しております。

今年度の核不拡散に関する国際フォーラム会議のテーマとして、4 月の核セキュリティサミットの結果を受けた対応、5 月の NPT 運用会議結果と今後のイニシアチブ（国際的な原子力平和利用進展と核不拡散の課題と国際協力・連携なども含め）が考えられるところかと思えます。本日、この後阿部所長から核軍縮・不拡散の最近の動向の報告をいただき、また当機構からアジア核不拡散・核セキュリティ総合支援センター《仮称》や核鑑識技術に関連する計画や取り組み状況などを報告させていただきます。これらの議論の中で、本年度の国際フォーラムにおいて取り上げるのに対応しいテーマや論点について、委員の皆様のご意見を頂きたいと考えております。

1. 国際フォーラム会議のテーマ・論点など

(1) 核セキュリティサミット結果とその具体的な対応

- ・ 我が国のアジア核不拡散・核セキュリティ総合支援センターへの取り組みと期待。アジア諸国など原子力新興国からのニーズ
- ・ 「3 年後を目途に、我が国の核検知・核鑑識技術を確立し」との我が国の国際公約への課題、具体的実施計画。
- ・ これらについて主要国の取り組み、国際動向
- ・ IAEA の役割・取り組み、国際協力・連携の内容、進め方など

(2) 2010 年 NPT 運用検討会議結果を受けた今後のイニシアチブ

- ・ 今後の課題とその解決に向けた取り組み、具体的な国際的イニシアチブ
- ・ 原子力エネルギーの開発にあたっての、保障措置、原子力安全及び核セキュリティへのコミットメント及び実施の確保

- ・ 原子力新興国への協力・支援
- ・ インドなど非 NPT 国との原子力協力と条件、FBR 協力の可能性は？
- ・ 輸出管理のあり方（NSG など）
- ・ 多国間管理構想など

2. 次回核不拡散に関する国際フォーラム開催要項

- (1) 日時：平成 23 年 1 月下旬（24 日の週）を予定
- (2) 場所：東京都内（学士会館など）を予定
- (3) 共催機関：日本原子力研究開発機構、日本国際問題研究所、東京大学 G-COE

（参考）最近の核不拡散に関する国際フォーラム開催実績

2009 年 12 月 3 日～4 日：

「原子力平和利用と核不拡散、核軍縮にかかわる国際フォーラム」
円卓討論のテーマ

- 「NPT の 3 本柱—原子力平和利用、核不拡散、核軍縮」
- 「保障措置、核セキュリティ、核拡散抵抗性」
- 「核燃料サイクルの多国間管理」

2008 年 6 月 24 日～25 日：

原子力平和利用と核不拡散にかかわる国際フォーラム「アジア地域の原子力平和利用の推進と核不拡散の両立に向けて」

パネルディスカッションのテーマ

- 「原子力平和利用の推進と国際協力」
- 「核不拡散・保障措置、核セキュリティの向上に向けて」
- 「信頼性醸成・透明性・人材育成」

以上